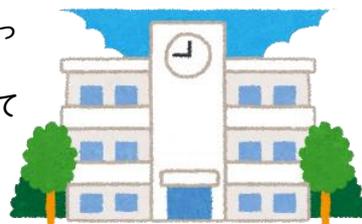


SNSの正しい使い方

4月から5月にかけては、新しい仲間との出会い等から、SNS等でグループを作ったり、連絡先を交換したりといった機会も増えてきます。

SNSは、便利な反面、使い方を誤ると、犯罪に巻き込まれたり、誰かを傷つけてしまったりといった危険も含んでいます。

この資料を読んで、SNSの正しい使い方について考えましょう。



SNSがもつ危険性

①個人情報情報の漏えい

公開されたプロフィールや投稿した内容、写真等から名前や住所や通っている学校等が特定され、ネット上だけでなく、実際の生活でも嫌がらせを受けてしまうことがあります。



②誹謗中傷

あなたの投稿に対し、自分の身元が知られないことを利用して、批判的な意見や馬鹿にするような言葉が投げかけられたり、集団で攻撃をされたりといったケースも発生しています。



③情報の拡散

ネット上の投稿や情報は、あなたの知らないところで第三者により勝手に拡散されることがあります。

これは、自分の投稿だけではなく、あなたが引用や共有をした他人の投稿も同じです。

一度拡散されると、以前の状態に戻ることはありません。

それがあなたが望まない形での拡散であっても、止めることはできません。



④犯罪への加担・犯罪被害

SNS等で知り合った人から住所や氏名を伝えたことで、相手から脅され、闇バイトや特殊詐欺等の犯罪に加担させられたりすることがあります。

また、SNS上で親しくなった相手の要求に応じていくことを繰り返した結果、金銭や裸の写真を要求されたり、実際に会った結果、誘拐や性犯罪の被害にあうケースも見られます。



正しく利用するために

①あなたが「どこ」の「誰」か分かる情報は公開しない。

個人名や住所等を公開しないことはもちろんですが、それらを書き込まなくても、写真や動画の中には様々な情報があり、個人が特定できてしまう可能性があります。

写真や動画を投稿する前に、あなたが「どこ」の「誰」であるか分かるような情報が写っていないかを必ず確認してください。

③投稿や情報を共有するときは立ち止まって考える。

一度アップロードされた情報はデジタルタトゥーとしてインターネット上に残り続け、限りなく拡散され続けます。

投稿をする前に、本当にアップロードしても良い内容であるかよく考え、自分以外の人の投稿や情報を共有する場合は、相手に共有をしてよいか確認をすることが必要です。

②相手を傷つける言葉や表現は、どんな場面でも絶対に使わない。

SNSは、本名を名乗らず利用することもできます。しかし、本名がわからないことをいいことに、相手を傷つける言葉等を使用することは許されません。

ネット上であっても、行われていることは、普段、人と話す時と同じ「コミュニケーション」です。相手の事を考えた言葉遣いや表現を心がけてください。

④SNSで知り合っただけの人の誘いに簡単に応じない。

ネット上には、あなたと気の合う友人を装ったり、あなたに寄り添うふりをして、金銭やわいせつな行為を要求をしたり、実際に会う約束をして犯罪の実行役として利用したりする人もいます。

本当に相手が信頼できる人がどうか、一人で判断せず、周りの人に相談をしてください。

みんなやっているから大丈夫ではなく、一人ひとりが意識することで危険を防ぐことができます。何かがおかしいと思ったら自分一人で迷わず、周りの大人や学校、警察に連絡をしましょう。

過去の啓発資料は、URL、二次元コードからご覧いただけます。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/393698.html>

岐阜県教育委員会 学校安全課／岐阜県子ども・女性部 私学振興課

Zeal Communications inc. All Rights Reserved.

